



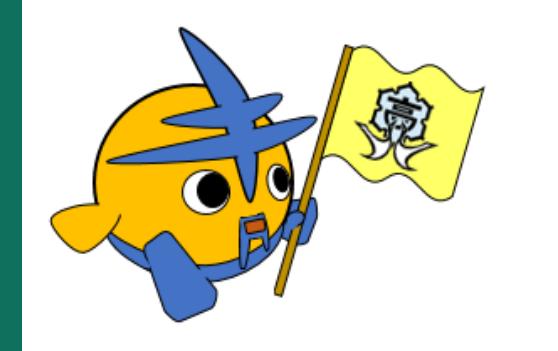
北村山高校PTA

令和7年度最北地区高等学校PTA連合会研究集会

子どもの成長を支える

これからのPTA活動とは

～小規模校が抱える課題解決にむけて～



県立北村山高等学校  
PTA会長 菅野 洋史

# 沿革

## 大石田高校と尾花沢高校の統合

昭和62年4月	「北村山高校」開校（普通科 5 学級・情報処理科 2 学級）
昭和62年6月12日	開校式典（以降「創立記念日」）
平成元年1月30日	同窓会館（合宿所）落成
平成13年4月	普通科 学級減（普通科 4 学級・情報処理科 2 学級）
平成17年4月	情報処理科 学級減、情報ビジネス科（1 学級）に学科改変
平成19年4月	普通科・情報ビジネス科改変 総合学科設置（5学級6系列）
平成23年4月	総合学科 学級減（4 学級 4 系列）
平成30年4月	総合学科 学級減（3 学級 3 系列）
令和 4 年4月	3 学級 4 系列 新教育課程による変更
令和 8 年より (スポーツサイエンス系列)	総合学科 3 系列へ（文理ビジネス系列廃止） → アウトドアスポーツを軸に編成

# 学校概要

最北地区唯一の総合学科（2年次より系列選択）

令和8年度入学性より

- ・文理教養系列（進学）
- ・スポーツサイエンス系列（運動・健康）
- ・ライフデザイン系列（家政）

1学年120名定員



## 在籍数

1年次	18名	（男子7名／女子11名）
2年次	16名	（男子10名／女子 6名）
3年次	30名	（男子13名／女子17名）
合計	64名	（男子30名／女子34名）

## 出身中学（北村山地区）

90.6%

尾花沢市	33名
大石田町	9名
村山市	5名
東根市	11名

## 出身中学（北村山地区以外）

9.4%

最上地区	2名
村山地区	3名
県外	1名

# 会員数・生徒数の減による影響

PTA	生徒	学校生活
PTA会員の減少による活動制限	生徒数減による学校活性化への影響	
PTA会費収入減による活動費不足	少人数による手厚い教科・生活指導	
諸会費の収入減（生徒会費・教育後援会費・進路指導費）	IT授業による個別最適化授業への対応	
PTA活動の縮小・再編などの対応	部活動任意加入による廃部・休部の増加	
	個々の役割増	業務量の増加

# PTA全体としての課題

1：役員・評議員の負担増  
各年次より 4名の役員選出

12名／64名中



2：PTA会費の予算額減 総予算額1,793,000  
全校生徒 64名からの会費 + 教職員 = R7会費1,466,400円

3：従来のやり方を踏襲せざるをえない（改革しにくい）  
単年度での役員改選と活動計画・学校側との調整不足

# これまでのPTA活動

## ◆学校行事

学園祭・クラスマッチ・レクリエーション

→ 学園祭における模擬店「手打ちそば」の企画運営



## ◆生徒会活動

花笠パレード・「花のかけはし運動」参加

→ 「花のかけはし運動」親子での花植えボランティア

## ◆生活指導

交通安全指導・朝の挨拶運動

→ 各種活動への参加（任意）

## ◆PTA会報 編集（年2回）

→ R7より1回のみに変更

校内での印刷も検討？

# これまでのPTA活動の課題

## ◆学校行事

学園祭における模擬店「手打ちそば」

▲人手不足・予算不足



## ◆生徒会活動

「花のかけはし」親子での花植えボランティア

▲生徒数減による参加者の固定化

## ◆生活指導

交通安全指導・朝の挨拶運動

▲PTA会員人数不足 → 任意参加へ

# これからのPTA活動（前年踏襲からの脱却）



## 3つの視点

- 1 生徒数・会員数に応じた活動へ
- 2 予算規模に応じた活動へ
- 3 子どもと直接かかわる活動へ

# 1 生徒数・会員数に応じた活動へ



組織の見直し → 学校規模に応じた役員選出

予算の見直し → 運営費の削減と活動費の確保

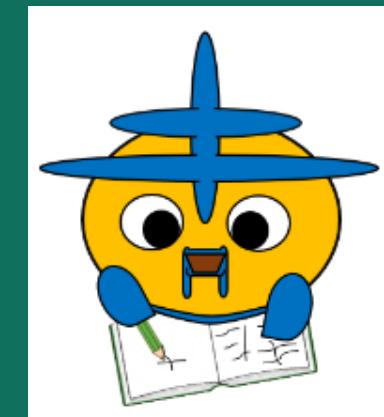
活動の見直し → 会報の回数削減、経費削減

## 2 経費を見通した活動へ

PTA会費 → 月額1,400円・PTA活動費予算を教育後援会費へ  
※ 創立記念式典一人1,000円 負担

教育後援会費 → 月額1,000円 PTA活動費の移管  
※ 部活動支援 200万円から65万へ減

進路指導費 → 月額750円



同窓会費 → 入会金として5,000円  
※ 主に周年記念事業費

### 3 子どもの成長にかかる活動へ

◆学校行事 → 学園祭「手打ちそば」の運営

『まんきち』店主による本格手打ちそば  
※継続に課題



◆生徒会活動 → 尾花沢市からのボランティア活動への参加のみ  
※自主的活動なし

◆生活指導 → 交通安全指導・朝の挨拶運動への協力  
※学校からの依頼のみ

終わりに

『北村山高校PTAは、**変革の時期**』

各校の取り組みを参考に、新たなPTAとしての  
一歩を踏み出せるよう改革していく予定です。

ご清聴ありがとうございました。